

【全身性ALアミロイドーシス】

レジメン名称 : DCyBorD (1サイクル)

インターバル日数 : 28日

催吐性リスク : 中等度

基準日 : day1

使用する抗がん剤:

Rp	手技	薬剤名称	標準値	上限値	投与	ルート	組織侵襲性
1	皮下注	ダラキューロ皮下注	1800mg/body	-	day1、8、15、22	-	非炎症性
2	皮下注	ベルケイド注射用	1.3mg/m ²	-	day1、8、15、22	-	非炎症性
3	内服	エンドキサン錠50mg	300mg/m ²	500mg	day1、8、15、22	-	-
4	点滴静注	デキサート注射液1.65mg	16.5mg(10A)	-	day1	-	-
5	内服	デカドロン錠4mg	20mg/body	-	day2、8、9 15、16、22、23	-	-

Rp	手技	薬剤名称	用量/単位	day1	day8	day15	day22
1	点滴静注	生理食塩液 50ml 点滴静注 ※点滴時間30分 投与経路:末梢ルートメイン	50ml	投与順1 ルートキー [®] 用 ポラミンを側管 から投与			
2	静注	ポラミン注5mg/1ml ワンシヨットで 静注 投与経路:末梢ルートメイン側管	1A	投与順2			
3	点滴静注	アセリオ静注液1000mg/バック 点滴静注 ※点滴時間15分 投与経路:末梢ルートメイン	1包	投与順3			
4	点滴静注	デキサート注射液1.65mg 生理食塩液 50ml 点滴静注 ※点滴時間30分 投与経路:末梢ルートメイン	10A 50ml	投与順4			
5	点滴静注	生理食塩液 100ml * 点滴時間1時間 投与経路:末梢ルートメイン	100ml	投与順5			
6	皮下注	ダラキューロ配合皮下注 翼状針使用のため15.5mlで調製 皮下投与	1800mg/body	投与順6	投与順1	投与順1	投与順1
7	皮下注	ベルケイド注射用 生理食塩液 3mg/Vを生食1.2mlで溶解(2.5mg/ml) 皮下投与	1.3mg/m ² 必要量	投与順7	投与順2	投与順2	投与順2

Rp	手技	薬剤名称	用量/単位	day1	day2	day8	day9	day15	day16	day22	day23
1	内服	エンドキサン錠50mg	300mg/m ²	300mg/m ²		300mg/m ²		300mg/m ²		300mg/m ²	
2	内服	デカドロン錠4mg	20mg		20mg	20mg	20mg	20mg	20mg	20mg	20mg
3	内服	アセトアミノフェン錠500mg	1000mg			1000mg		1000mg		1000mg	
4	内服	ポラミン錠2mg	2mg			2mg		2mg		2mg	

- ★ 前処置(アセトアミノフェン、ポラミン、デカドロン)はダラキューロの投与1時間以上前に投与終了
- ★ 必要に応じて、day1の前処置にシングレアOD錠10mg1錠を加える
- ★ 輸血時の間接クームス試験に影響あり
- ★ 高齢者、DM患者では、デカドロンのday2、9、16、23の省略や1回10mg程度への減量を検討